

平和フェスティバル 2018

in よこはま

9月2日(日)

14時～16時(開場13時半)

横浜市南公会堂

(南区総合庁舎3階)

横浜市南区浦舟町2丁目33番地
地下鉄「阪東橋駅」下車8分

入場整理券
500
円

18歳未満は
入場料無料

第1部

平和の音楽と舞踊のステージ 14:00～

～サクソフォンカルテット、
ヨコハマハギハッキョ・チャンゴグループ～



講演

「地域から平和を語ろう、つくろう」

14:45～

講師：柳澤 協二さん

(元内閣官房副長官補)

第2部

講師：柳澤協二さん プロフィール

1946年東京生まれ

東京大学法学部卒業。防衛庁に入庁、防衛庁運用局長、防衛庁人事教育局長、官房長、防衛研究所所長、内閣官房副長官補(安全保障・危機管理担当)などを歴任した。現在、NPO法人国際地政学研究所理事長、新外交イニシアティブ理事、自衛隊を活かす：21世紀の憲法と防衛を考える会代表。

著書『検証 官邸のイラク戦争 元防衛官僚による批判と自省』(岩波書店)

『亡国の安保政策—安倍政権と「積極的平和主義」の罠』(岩波書店)

『自衛隊の転機—政治と軍事の矛盾を問う』(NHK出版新書) 他多数

主催：平和フェスティバル2018 in よこはま実行委員会

後援：神奈川新聞社・東京新聞 横浜支局・(株)タウンニュース社

【事務局】

- ◆ 作山 ゆうすけ 事務所 〒231-0849 横浜市中区麦田町 4-98 TEL. 045-624-4011 FAX. 045-624-4004
- ◆ きしべ 都 事務所 〒232-0056 横浜市南区通町2-25-3 3階 TEL. 045-341-3385 FAX. 045-341-3389
- ◆ いたう 純一 事務所 〒232-0044 横浜市南区榎町2-51 TEL. 045-315-3115 FAX. 045-315-3175

生きる

浦添市立港川中学校3年 相良倫子

(平成30年 沖縄全戦没者追悼式「平和の詩」朗読作品)

私は、生きている。
マントルの熱を伝える大地を踏みしめ、
心地よい湿気を孕んだ風を全身に受け、
草の匂いを鼻孔に感じ、
遠くから聞こえてくる潮騒に耳を傾けて。

私は今、生きている。

私の生きるこの島は、
何と美しい島だろう。
青く輝く海、
岩に打ち寄せしぶきを上げて光る波、
山羊の嘶き、
小川のせせらぎ、
畑に続く小道、
萌え出づる山の緑、
優しい三線の響き、
照りつける太陽の光。

私はなんと美しい島に、
生まれ育ったのだろう。

ありったけの私の感覚器で、感受性で、
島を感じる。心がじわりと熱くなる。

私はこの瞬間を、生きている。

この瞬間の素晴らしさが
この瞬間の愛おしさが
今と言う安らぎとなり
私の中に広がりゆく。

たまらなく込み上げるこの気持ちを
どう表現しよう。
大切な今よ
かけがえのない今よ
私の生きる、この今よ。

七十三年前、
私の愛する島が、死の島と化したあの日。
小鳥のさえずりは、恐怖の悲鳴と変わった。
優しく響く三線は、爆撃の轟に消えた。
青く広がる大空は、鉄の雨に見えなくなった。
草の匂いは死臭で濁り、
光り輝いていた海の水面は、
戦艦で埋め尽くされた。
火炎放射器から吹き出す炎、幼子の泣き声、
燃えつくされた民家、火薬の匂い。
着弾に揺れる大地。血に染まった海。
魍魎魍魎の如く、姿を変えた人々。
阿鼻叫喚の壮絶な戦の記憶。

みんな、生きていたのだ。
私と何も変わらない、
懸命に生きる命だったのだ。
彼らの人生を、それぞれの未来を。
疑うことなく、思い描いていたんだ。
家族がいて、仲間がいて、恋人がいた。
仕事があった。生きがいがあった。
日々の小さな幸せを喜んだ。
手を取り合って生きてきた、私と同じ、人間だった。
それなのに。
壊されて、奪われた。
生きた時代が違う。ただ、それだけで。
無辜の命を。あたり前に生きていた、あの日々を。

摩文仁の丘。眼下に広がる穏やかな海。
悲しくて、忘れることのできない、この島の全て。
私は手を強く握り、誓う。
奪われた命に想いを馳せて、
心から、誓う。

私が生きている限り、
こんなにもたくさんの命を犠牲にした戦争を、
絶対に許さないことを。
もう二度と過去を未来にしないこと。
全て人間が、国境を越え、人種を越え、
宗教を越え、あらゆる利害を越えて、
平和である世界を目指すこと。
生きる事、命を大切にできることを、
誰からも侵されない世界を創ること。
平和を創造する努力を、厭わないことを。

あなたも、感じるだろう。
この島の美しさを。
あなたも、知っているだろう。
この島の悲しみを。
そして、あなたも、
私と同じこの瞬間(とき)を
一緒に生きているのだ。

今と一緒に、生きているのだ。

だから、きっとわかるはずなんだ。
戦争の無意味さを。本当の平和を。
頭じゃなくて、その心で。
戦力という愚かな力を持つことで、
得られる平和など、本当は無いことを。
平和とは、あたり前に生きること。
その命を精一杯輝かせて生きることだということ。

私は、今を生きている。
みんなと一緒に。
そして、これからも生きていく。
一日一日を大切に。
平和を想って。平和を祈って。
なぜなら、未来は、
この瞬間の延長線上にあるからだ。
つまり、未来は、今なんだ。

大好きな、私の島。
誇り高き、みんなの島。
そして、この島に生きる、すべての命。
私と共に今を生きる、私の友。私の家族。

これからも、共に生きてゆこう。
この青に囲まれた美しい故郷から。
真の平和を発進しよう。
一人一人が立ち上がって、
みんなで未来を歩いていこう。

摩文仁の丘の風に吹かれ、
私の命が鳴っている。
過去と現在、未来の共鳴。
鎮魂歌よ届け。悲しみの過去に。
命よ響け。生きゆく未来に。
私は今を、生きていく。

<平和の詩全文> (原文のまま、沖縄県平和祈念資料館 提供)

インフォメーション

※入場整理券は、下記事務所で扱っています。
当日券もあります。お気軽にお問い合わせ下さい。

◆ 作山 ゆうすけ 事務所 TEL. 045-624-4011 FAX. 045-624-4004
http://sakuyama.typepad.jp/

◆ きしべ 都 事務所 TEL. 045-341-3385 FAX. 045-341-3389
http://kishibe-miyako.com/

◆ いたう 純一 事務所 TEL. 045-315-3115 FAX. 045-315-3175
http://itou-junichi.jp/

アクセスマップ

